

北海道釧路湖陵高等学校

学校説明会

8/12

13:00-15:00

しるべっと

@ 中標津

参加方法



左のQRコードより
事前申込をお願いします

* 当日参加も可能です

[Google Form]

内容

本校紹介

* 理数探究科・文理探究科

座談会

* 根室管内出身の在校生や
卒業生が語る「湖陵のマナビ」とは？

問い合わせ先

TEL 0154-43-3131 (代表)

HP



北海道釧路湖陵高等学校

書：田井 絢花(書道部3年) 写真：岡嶋 蓮(写真部3年)

北海道釧路湖陵高等学校

Hokkaido Kushiro Koryo High School

SCHOOL GUIDE

2025

湖陵で
叶える
私の夢!





校長からのメッセージ 「高き希望を湖陵で実現」

北海道釧路湖陵高等学校長
埴 浩伸

本校は、大正2年に北海道庁立釧路中学校として開校し、令和4年度に創立110周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。これまで、校訓「誠愛勇」のもと、「湖陵魂」を受け継ぎながら、約3万人の卒業生が本校を巣立ち、道内はもとより、国内外の各地において、様々な分野で活躍されております。

平成24年度からは、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」に指定され、理数系教育に重点を置いた研究開発に取り組みなから、将来の国際的な科学技術系人材の育成に向けた教育活動を推進しており、これまでの2期10年間の充実した取組が評価され、昨年度から、実践型の第3期として、新たに5年間の指定を受けたところです。

また、令和4年度からは、同じく文部科学省の「新時代に対応した高等学校改革支援事業」に指定され、今年度から道内のトップを切って設置した普通科新学科である「文理探究科」を中心に、探究的な学習活動に重点を置いたカリキュラム及び教育方法の開発や、関係機関等との連携協力体制の整備等に取り組むなど、理数探究科とともに、次代を担うリーダーの育成に向けて、北海道の高校教育をリードする教育活動を展開しています。

これからも、校訓「誠愛勇」のもと、本校の輝かしい伝統を継承するとともに、次の時代の「湖陵高校」を創造しながら、自立と共生の精神にあふれ、優しさとたくましさ兼ね備えた生徒の育成をはじめ、北海道のみならず、日本、そして世界の発展に貢献できる有為な人材の育成を目指して、教育活動の改善・充実に取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力を重ねて御願ひ申し上げます。

校訓
誠愛勇

湖陵の目指す姿

スクール・ミッション

- 次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成
- 多様化する国際社会において、主体的かつ協働的に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 校訓「誠愛勇」のもと、向学心や探究心を高めながら、自己の進路実現に向けて意欲的に学校生活に取り組む生徒の育成

学校教育目標

よりよい未来の共創を目指して、主体的に社会の形成に参画しながら、地域や日本、国際社会の持続的発展に寄与するリーダーを育成するために、

- 自ら学び、考える、心身ともに鍛え、高い知性を身に付けた人を育てます
- 主体的に計画し、行動する、創造性豊かで、高い志をもった人を育てます
- 他者を尊重し、ともに高め合う、人間性豊かで、高い道徳心をもった人を育てます

特色ある取組

多様性・個性・新たな「知・価値」を生み出すための原動力を
ふるさと道東で磨き、夢を実現させよう

本校は、令和6年度入学生より「理数探究科」「文理探究科」がスタートしました。「探究的な学び」を重視しながら、より高い学力を身に付けることができる2つの学科での取組のほか、様々な特色ある「学び」が実践されています。湖陵高校での学びを通して、皆さんの夢を実現させませんか？



文部科学省研究指定事業

『スーパーサイエンスハイスクール(SSH)』指定校



第3期指定期間：令和5～9年度

知識の向こう側へ 君の「究めたい」を実現する場所がここにある

本校は、平成24(2012)年度に文部科学省からSSHの指定を受け、今年度で13年目を迎えました。第3期の指定を受けた令和5年度からは、よりよい未来を共創する科学技術イノベーターに求められる力を『Koryo Agency』と定義し、その育成に取り組んでいます。



北海道教育委員会研究指定事業

『地域医療を支える人づくりプロジェクト(医進類型事業)』指定校

高・大・病が連携して、地域医療に貢献できる人材の育成を目指し、医学部等の進学に対応できる学力と医療従事者に必要とされる資質・能力を育成するために、少人数授業*1や出前授業などの特色ある様々な教育活動に取り組んでいます。

ブタの内臓解剖実習
医学部生招へい事業*2
高校生メディカル講座

地域医療体験学習
合同研修および取材活動
メディカルキャンプセミナーへの参加

*1…理数探究科、文理探究科「理数重点」クラスの理科・数学の授業で実施
*2…本校卒業生による講話を実施

「探究的な学習」を重視しながら、より高い学力を身に付けることができる2つの「湖陵の学び」は、一般選抜に対応できる高い学力を身に付けるとともに、高校3

人文科学や社会科学・自然科学など幅広い分野を学び、よりよい社会を共創する力を育てる

また、文理探究科の学校設定科目「KQ」と「総合的な探究の時間」で取り組む探究活動では、皆さんの「知りたいこと」「学びたいこと」を大切にしながら探究を深め、「現代社会の答えのない課題」に取り組む探究力を養います。

湖陵高校独自の学校設定科目 **湖陵クエスト**と総合的な探究の時間で探究力を伸ばそう！

全力かつ大胆な思考で！

湖陵高校は、勉強や部活動以外でも充実した高校生活を送ることができます。皆さんと湖陵高校で会うことを楽しみにしています！



など

など

など

*芸術Ⅰ……音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道ⅠからⅠ科選択

78

学科で、皆さんの夢の実現をサポートします
年間の探究的な学びの成果が評価される総合型選抜や学校推薦型選抜による進路実現を目指すことができます

理数探究科 先進的な理数系教育によって、創造性豊かな科学人材を育てる

理数系に重点を置いたカリキュラムを設置することで、教科書の内容を超えたハイレベルな内容を取り扱う授業を行います。特に理科では、物理・化学・生物の3分野すべてを深く学ぶだけでなく、国際的な発信力を高めるための英語力も培います。また、理数探究科の学校設定教科「KCS」では、湖陵高校のSSH事業の中核として「探究のプロセスを繰り返すプログラム」や、自ら研究課題を設定する「課題研究」に取り組みます。「課題研究」では、大学教員等からより深く専門的な指導を受けることができ、大学進学後に生きる、将来の研究者として必要な基本的な力を身に付けることができます。

Koryo Century Science

学校設定教科 **KCS** の学びを通して 世界で活躍できる科学的な研究力を養おう！

先輩からのエール

1年

考える
体験する

KCS基礎

釧路湿原をフィールドとしたプログラムや探究のプロセスを繰り返す実習によって、探究活動に必要な基本的なスキルや科学的な思考力を身に付けます。



- 中和の探究
- プタの内臓解剖実習
- 釧路湿原に関わるプログラム
- 研究の基礎を身に付けるトレーニングなど

2年

探究する
協働する

KCS探究

KCS基礎で身に付けたスキルを活用し、自ら設定した研究テーマに基づいて課題研究を進めます。研究生徒同士での相互評価も行いながら課題研究を進めます。



- テーマ設定
- 研究活動の開始
- ポスター作成

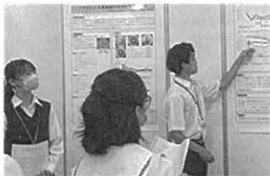
など

3年

創造する
発信する

KCS発展

KCS探究で取り組んだ「課題研究」の内容をより洗練させ、日本語による論文作成や国際的な場面を想定した「課題研究英語ポスター発表会」で探究の成果を発表します。



- 日本語論文の作成
- 英語ポスター作成

など

「KCS」は気づきの宝庫

私たちは現在『衛星画像解析による釧路湿原の植生の特定』をテーマに研究しています。昨年実施した釧路湿原巡検をもとに、釧路湿原の草原化の進行を調べるために画像解析から確かめようとしたがうまくいかなかったため、新しい方法で取り組みたいと考え、このテーマに決めました。グループでは、何事においても疑問や考えたことを言葉にして共有するようにしています。これによって、お互いが新しい気づきを得ることができています。

湖陵高校は、生徒一人ひとりのやりたいことを追究させてくれる場所です。ぜひ、一緒に新しいことに挑戦し楽しい高校生活を送りましょう！



松井涼真
バスケットボール部
附属出身

浅水志穂
写真部
附属出身

池田悠真
サッカー部
富原中出身

飯村真子
山岳部
附属出身

理数探究科 教育課程（令和7年度入学生 予定）

*芸術Ⅰ……音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰから1科選択

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	2 現代の国語	2 言語文化	2 地理総合	2 歴史総合	5 SS理数数学Ⅰ				2 SS化学		2 SS生物	2 体育	1 保健	2 *芸術Ⅰ	3 英語コミュニケーションⅠ	2 SS英語	1 家庭基礎	1 SS情報	3 KCS基礎	LHR													
2年	2 文学国語	2 古典探究	3 地理探究 日本史探究 世界史探究	2 公共	5 SS理数数学Ⅱ				2 SS物理		2 SS化学	2 SS生物	2 体育	1 保健	4 英語コミュニケーションⅡ	2 論理表現Ⅱ	1 SS情報	2 KCS探究	LHR														
3年	2 文学国語	2 古典探究	3 ゼミナール地理 発展日本史 発展世界史 時事問題研究	6 SS理数数学Ⅱ					4 SS物理		2 SS化学	2 SS生物	3 体育		4 英語コミュニケーションⅢ	2 論理表現Ⅲ	1 KCS発展	LHR															

先輩からのエール

私は同じ志を持つ仲間が多く、勉強するための環境が整っていることや、「探究活動」などの普段の勉強では味わえない活動に心を惹かれたため、湖陵を目指しました。

皆さんの中には高校の勉強に不安を抱いている人が多いと思います。私もそうでした。普段から地道に努力していれば勉強にはついていけます。しかし、高校で必要な勉強量はズバリ多いです。だから私は「効率的に」「スキマ時間を活用」この2つを意識して、勉強しています。これらは中学校の勉強にも言えることなので、中学校のうちから試行錯誤して、自分の勉強法を確立できるといいと思います。高校に入学してからは勉強はもちろんのこと、部活動にも力を入れています。湖陵で過ごす中で、中学生の時は「湖陵は勉強に特化している生徒が多い」というイメージでしたが、入学してからは「勉強ができるだけではない」というイメージに変わりました。湖陵祭などの行事では全員が全力を出して楽しんでいたり授業には真剣に、

休むときにはしっかり休むというメリハリをもっていることが湖陵生の良いところ。湖陵で得られる学びは普段の授業から得られる学びのみではありません！

ぜひ湖陵を目指し、
夢に向かって勉強しましょう！



理数探究科1年
佐川 惺南
音楽研究部
釧路市立景雲中学校出身

私は下宿から湖陵に通っています。「下宿生活は大変」というイメージがありませんか？でも、慣れてくると快適です。確かに自分で時間を管理することはとても難しいですが、その分、自分のペースで生活することができます。最初の頃は、家事と勉強の時間配分にずいぶん悩みましたが、家事をしながら英単語の音声を聞く、スマホアプリでスキマ時間を活用するなど、試行錯誤して時間を上手く使えるようになりました。やろうと思えば意外となんとかなるので「行動してみる」ことが大事です！

私が中学生の時は、「湖陵＝勉強」で忙しくて大変だと思っていましたが、入学して部活や行事にも全力で楽しめる場所だと感じました。特に部活では、湖陵でしかできない貴重な経験をたくさんすることができ、とても成長することができました。高校生活は多忙ですが、とても充実していて、親元から離れた下宿生活だとしても湖陵に入学して本当に良かったなと思っています。

皆さんにも、湖陵で楽しい生活を送って自分の夢を叶えてほしいと思っています！
応援しています！



普通科3年
前田 薫子
器楽部
中標津町立中標津中学校出身

私が湖陵高校を目指した理由は、獣医師になるという将来の夢があり、それを実現するためです。

私は、野球部に所属していて学習との両立が課題です。そのため、遠距離通学生にとって汽車に乗っている時間の使い方はとても重要です。私は汽車に乗っている時間が1時間程度あるので、英単語帳を読んだり、数学の問題を解くなど汽車の中でできる学習をしています。

現在、通学時間も活用しながら、授業中だけではなく空き時間の学習に力を入れています。部活動を全力で取り組むためには、学習も同じくらいの熱量で取り組む必要があります。

私は中学生の時、湖陵高校は管内で進学校と呼ばれている高校なので、勉強ばかりで大変なんだろうなというイメージを持っていました。しかし、入学してからの日々の授業はとてもおもしろくて、難しいところがあっても先生方が親切に教えてくれます。学校祭などの行事もいつもとは違う楽しさがあって、自分がイメージしていた以上に充実した学校生活を送っています。

一緒に湖陵を楽しみましょう！



文理探究科1年
和田 隼人
野球部
厚岸町立太田中学校出身

私が湖陵高校を目指した理由は、進路活動に力を入れていて、大学入試に強いと考えたからです。

私は、下宿から通っているため、勉強と部活に加え、身の回りのことも自分でやらなくてはなりません。入学した頃は、時間の使い方や生活習慣をどのように定着させていくか悩んだ時もありましたが、同じ下宿の先輩にアドバイスをもらうなどして、徐々に自分なりの「有効な時間の使い方」を見つけ、勉強と部活を両立させることと生活リズムを安定させることができるようになりました。下宿生活を通して、「一人暮らしの力」の向上も感じます。

初めは、湖陵は厳しそうなイメージがありましたが、先生方も生徒も明るくユーモアにあふれていて、毎日楽しく充実した日々を過ごしています！

自分の将来に真剣に向き合える人は、きっと充実した湖陵生活を送れると思います。
皆さんの入学を待っています！



普通科2年
横田 葵
ハンドボール部
中標津町立中標津中学校出身

KORYO SCHOOL LIFE

* の行事や、その他 進路に関わる取組は、進路のページに記載しています

4

April

入学式・始業式
新入生歓迎会
宿泊研修①……………
湖陵の日(参観日)



5

May

高体連壮行会
面談週間 I

湖陵祭



6

June

第1回定期試験
釧路湿原巡検①[理数]
RESAS出前講座①[文理]



7

July

湖陵祭……………
アカデミックインターンシップ②[文理]
課題研究
▶英語ポスター発表会③[理数]

8

August

夏期講習
統一学校説明会*

9

September

体育大会……………
第2回定期試験
校外巡検①[文理]



10

October

面談週間 II
出前講義*①
見学旅行②……………
課題研究 ▶中間発表会②[文理]

11

November

第3回定期試験
課題研究 ▶中間発表会②[理数]
SSH 特別講演会



4泊5日の
関西方面の旅

12

December

GTEC①②
釧路湿原巡検 成果発表①[理数]
冬期講習



1

January

大学入学共通テスト③
特別授業③

2

February

第4回定期試験
SSH成果発表会
▶校内生徒発表会①②



3

March

卒業式……………
合格体験報告会
修了式

日常風景

何事にも真剣に取り組めます!



部局発表



▲茶道部



▲書道部・華道部



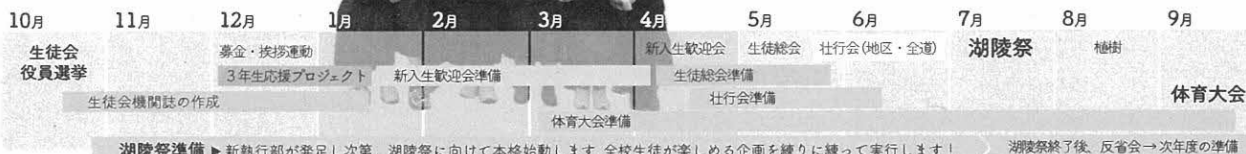
▲美術部

私たち 令和6年度 生徒会執行部が

生徒全員がわかりやすく楽しく行事に取り組むためには、
生徒会執行部の企画立案・提案といった事前準備がとても重要になります。
各HRの協力のもと、連絡・調整を綿密に行いながら、全校生徒で行事を成功に導きます！
皆さんも生徒会執行部の一員となって一緒に行事を創り上げませんか？

生徒会活動 を少しだけ紹介します！

生徒自らがイチから創り上げる！ それが湖陵の生徒会行事



* 通年で、各種委員会活動を実施

あなたの青春がここに

生徒会長 田井紘花 (書道部・図書局/音別中学校出身)

本校は文武両道をモットーとしており、私たち生徒は仲間と切磋琢磨しながら、勉強はもちろん、部活動、行事など様々なことに全力で取り組んでいます。

湖陵祭では、クラスごとに模擬店、演劇、歌合戦、行灯制作に取り組みます。良いものを目指して協力がいく中で、より一層クラスの絆が深まります。作業や練習のために残る放課後、本番の舞台や行灯行列は「青春！」というような感じがして楽しいです。体育大会では、バレーボールやボッチャなどの球技と、長縄などの運動会種目で優勝を目指します。明るく声を掛け合いつつ、練習から本気で取り組むなど、全クラスとも楽しさと気合に満ちた雰囲気です。

部活動は約40種類あります。きっと皆さんが興味をひかれるものがあるはずです！放課後の校内も部活動をする生徒の楽しそうな声でとても賑やかです。

私の所属する生徒会執行部は全員で協力し、生徒、先生、そして保護者の皆さんと地域の皆さんにサポートしていただきながら活動しています。活動内容は多岐にわたっていますが、学校行事の企画運営が主な役割です。今年は、湖陵祭で「謎解き」、体育大会で「借人競争」を新たに企画しました。生徒が自ら行事を創り上げます。実は、中学生に向けた学校説明会のお手伝いもしています！湖陵高校の生徒会執行部にも興味を持っていただけると嬉しいです。

2024年度より本校のコースの名称は理数探究科・文理探究科となり、探究ルームが誕生するなど、好きなことに打ち込める環境が更に整いました。私は旧コース(普通科)なので、これから入学し、思い切り好きなことを探究できるみなさんが羨ましいです。

高校生活を全力で楽しみたい人は、ぜひ湖陵高校へ！

みなさんが「湖陵愛してる！」と思う日が来ますように。



チアリーディング部

新入生歓迎会や壮行会・湖陵祭以外でも
応援は私たちに任せてください！

応援団



部局活動紹介 『文武両道』

外局	放送 新聞 図書 応援団(チアリーディング部)
文化系	探究(物理・化学・生物etc.) 文芸 書道 美術 器楽 合唱 外国語 演劇 写真 家政 華道 茶道 音楽研究
体育系	山岳 野球 男女バスケットボール バドミントン 弓道 空手道 ソフトテニス 剣道 テニス 柔道 サッカー 男女バレーボール 卓球 陸上競技 男女ハンドボール スケート(アイスホッケー/フィギュア/スピード)

図書局

全国大会出場決定！

「ほっかいどうPOPフェスタ2024」で
優秀賞を受賞し、12月に長崎で行われる全国大会に
出場することが決定しました！(2年連続で全国大会出場)



制服が進化しました

ユニバーサルデザインへの対応をしながら、
機能性・耐久性に優れた制服に進化しました！

詳しくはコチラを
CHECK



山岳部



野球部



男子バスケットボール部

15年ぶりに全道大会へ進出しました！



ハンドボール部

湖陵の進路指導 「志を高く持ち、易きに流れない」

3年間を見通した系統的な進路指導で皆さんの進路実現をサポートします

行けるところではなく 行きたいところへ

本校の進路指導は、「志を高く持ち、易きに流れない」を伝統としています。これは単に『身に付けた高い学力を発揮して難関校に多くの合格者を出す』という意味ではありません。湖陵での学びをとおして身に付けた様々な力を多面的に発揮し、『生徒が主体的に自分の興味・関心・適正を考え、その可能性を最大限に引き出し自己実現を果たす』ということが重要だからです。高校卒業後の大学進学等の進路選択・進路実現は、あくまでも自分の夢・やりたいことを実現するための通過点です。本校では、その先の「なりたい自分」「目指す自分」を明確にするためのキャリア教育を実践し、皆さんの夢の実現をサポートします。

統一学校説明会

湖陵だからこそできる

『湖陵生』のための進路相談会

全校生徒を対象とするこの取組は、湖陵高校が2003（平成15）年から独自に始めた合同の進路相談会であり、業者を一切介さずに本校の生徒と教職員で行う、湖陵生にアジャストした説明会です。大学だけではなく、大学校・専門学校・予備校などにも参加していただいています。（今年度の参加は約110校：資料参加のみも含む）各大学等のブースで、担当者から直接説明を聞くことができるため、生徒の進路選択に大いに役立っています。



3年間の進路活動の流れ

	1年	2年	3年	備考
4月	スタディサポート* 進路集会 進路学習会			● 3年生の模擬試験について 4～9月までは随時実施（任意受験）
5			進路説明会 ※	
6	放課後講習 模擬試験	放課後講習		● 各種講演会・インターンシップは随時実施 ・看護ガイダンス ・教育実習生と語る会 ・卒業生と語る会 ・メディカル講座 ・個別大学説明会 ・その他講演会 ・小学校インターンシップ ・教員養成セミナー など
7	R-CAP* 進路講演会	進路講演会 夏期講習 I 期		
8		模擬試験(河合塾) 【統一学校説明会】	夏期講習 II 期	
9	進路説明会 ※	進路説明会 ※	進路説明会 ※	
10	出前講義* 放課後講習	模擬試験(駿台) 放課後講習	共通テスト出願 放課後講習 ～11月	● 進路説明会※ … 保護者等が対象
11	模擬試験 進路説明会 ※		* 模擬試験 10～11月は毎週末実施	● *の項目について ▶ スタディサポート 学力・学習の両面から、自分の強み・課題を把握し、次の行動改善と生徒自身の成長につなげる検査
12	冬期講習		共通テスト直前講習	
1	模擬試験		共通テスト	▶ R-CAP 自己理解・職業適正・学問適正・文理傾向を診断・把握する検査
2	模擬試験 (河合塾・駿台)		2月下旬 国公立大学前期試験 合格発表：3月初旬	▶ 出前講義(1年) 実際に大学の講義を体験します。自分の興味・関心がある講座を選択することができます。 【令和6年度の開講講座】 北星学園大、北海道科学大、東京農業大学
3	スタディサポート 小論文ガイダンス 合格体験報告会 3年生からのメッセージ 春期講習		3月中旬 国公立大学後期試験 合格発表：3月下旬 私立大学の試験日程は各大学による	

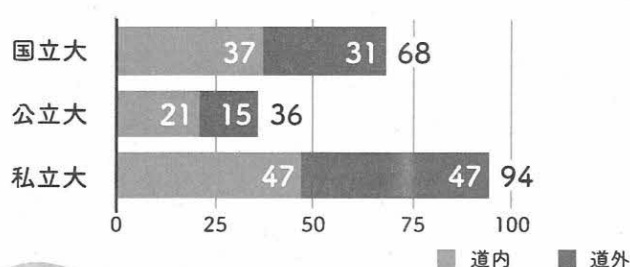


令和5年度進路実績

合格者状況 (単位: 人)

種 別	合格者数	最終決定
国立大学	75	68
公立大学	44	36
私立大学	338	94
準大学 (大学校)	2	0
私立短期大学	1	1
専修学校・各種学校	17	8
就職	2	2

大学進学者の道内外の状況 (単位: 人)



卒業生からのメッセージ



佐々木 彩さん
東北大学 工学部
(理数科 卒業・鳥取中学校出身)

私は高校在学中、Eプランを活用して興味のある人工血液の最先端の研究を学ぶために、奈良県立医科大学と早稲田大学を訪問する機会をいただきました。現在、大学では、機械工学を学んでいますが、将来はこの経験もあり医工学について研究する予定です。現在の私の大学での学びは高校での課題研究をはじめとした様々な学習活動が大きく影響していると思います。私が参加させていただいたEプランは湖陵高校独自のプログラムですが、特定の分野で興味・関心がある人にはぜひ在学中に活用してほしいと思います。



伊藤 ゆずさん
早稲田大学 国際教養学部
(普通科 卒業・武修館中学校出身)

私は高校1年生の時から国際関係学や歴史学、語学からプログラミングなどの理系寄りの分野まで幅広い学問に興味があったため、文理の枠にとらわれずに自分好みの科目を選択できる早稲田大学の国際教養学部に進学しました。1年間の留学が必須で、学生の約3割が外国人留学生であり、ほとんどの授業が英語で行われるなど日常的に英語を話せる環境であることも、この学部を選んだ決め手となっています。湖陵での学習や探究活動などの様々な経験のおかげで合格をつかみ取ることができました。やりたいことを全力で取り組める湖陵で、皆さんにも頑張ってもらいたいです。

決定先学校名

■ 国立大学

北海道教育大 (旭川・岩見沢・釧路・札幌)、小樽商科大、帯広畜産大、北見工業大、北海道大、室蘭工業大、弘前大、福島大、茨城大、筑波大、宇都宮大、埼玉大、千葉大、新潟大、富山大、信州大、静岡大、京都大、大阪大、奈良女子大、鹿児島大

■ 公立大学

旭川市立大、釧路公立大、公立はこだて未来大、公立千歳科学技術大学、札幌医大、札幌市立大、名寄市立大、青森県立大、岩手県立大、宮城大、秋田県立大、福島県立医科大、茨城県立医療大、高崎経済大、東京都立大、神奈川県立保健福祉大、横浜市立大、新潟県立大、公立小松大、公立諏訪東京理科大、静岡県立大、滋賀県立大、大阪公立大、兵庫県立大、北九州市立大、名桜大

■ 私立大学

北星学園大、北海学園大、北海道医療大、北海道科学大、青山学院大、中央大、東京理科大、法政大、明治大、立教大、早稲田大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大 他

Eプランについては
こちら



2024旭川医科大学の
大学案内パンフレットに掲載されました



山口 大翔さん
旭川医科大学 医学科
(普通科 卒業・鳥取中学校出身)

現在、旭川で臨床医学を学びながら、陸上部として日々トレーニングを重ねマラソン大会に参加するなど、充実した学生生活を送っています。

釧路湖陵高校在学中には医進類型事業に参加し、具体的な医師像と他者とのディスカッションスキルを磨くことができたと感じています。特に釧路の地域医療の問題点を抽出し、様々な視点から問題解決を図ったり、他の参加者と意見交換した経験によって、医学部受験の面接時に一貫性のある意見を述べたり、議論を行うことができたと思います。また、様々な診療科で実際に働いている医師の方々の談話や質問会の機会は、自分の理想の医師像形成に繋がったと強く感じています。その他にも、学会へ参加して実際の医師のプレゼンテーション能力を間近で学んだり、ブタの内臓解剖実習を通して生命の尊さを学ぶこともできました。

皆さんも同じ志を持った仲間と医進類型事業に参加し、理想の医師像を見つけ、そこに向かって突き進んでみてはいかがでしょうか？

令和7年度入学者選抜

〈詳しくはこちら〉

本校の推薦枠、入学者の受入れに関する方針は以下のとおりになります。



学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
文理 探究科	20%	基本的な生活習慣が身に付いており、学習活動はもとより、生徒会活動、学校行事や部活動等に積極的に参加する生徒で、次のいずれにも該当する生徒 1 知的探究心があり、現代的な諸課題等について、他者と協働しながら課題の解決や新たな価値の創造に向けて、主体的に学ぶことができる生徒 2 人文・社会科学や自然科学など、幅広い分野に興味・関心がある生徒
理数 探究科	30%	基本的な生活習慣が身に付いており、学習活動はもとより、生徒会活動、学校行事や部活動等に積極的に参加する生徒で、次のいずれにも該当する生徒 1 知的探究心があり、現代的な諸課題等について、他者と協働しながら課題の解決や新たな価値の創造に向けて、主体的に学ぶことができる生徒 2 特に、理科や数学など、自然科学分野の学習に興味・関心が高い生徒

文理探究科		理数探究科
傾斜配点	なし	数学2.0倍、英語・理科1.5倍
複数尺度	学力重視	学力10：学習0
	学習重視	学習6：学力4
推薦入試	あり（面接・作文・個人調査書等）	あり（面接・作文・個人調査書等）
定員	160名（うち推薦32名）	40名（うち推薦12名）

入学者選抜試験におけるQ & A

- Q 文理探究科と理数探究科の受検において、推薦入試と一般入試の併願について教えてください。
- A 推薦入試においては、文理探究科と理数探究科の併願はできません。
一般入試においては、文理探究科と理数探究科の併願ができます。
- Q 推薦入試では、文理探究科と理数探究科では異なる試験を行うのですか。
- A 文理探究科と理数探究科は、ともに「面接、作文、個人調査書等」を総合的に判定します。
「入学者の受入れに関する方針」を熟読し、自身の適性と興味・関心を考えて出願してください。
- Q 令和7年度道立高校入試の変更点について教えてください。
- A 北海道教育委員会のホームページでご確認ください。



北海道釧路湖陵高等学校

〒085-0814 北海道釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号

TEL (0154) 43-3131

FAX (0154) 43-3134



「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

文理探究科通信

No.1

令和6年7月5日発行

発行

文理探究科推進委員会

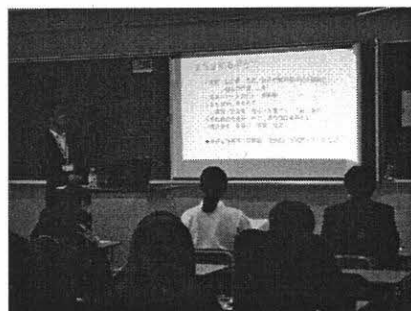
今年度から文理探究科がスタートしました。1年生の「学校設定科目KQI」の授業で、6月26日（水）に釧路市立博物館の学芸員による出前授業を実施しました。生徒は、4名の講師による講義を、5・6校時で2講座選択して受講しました。

講師の方の学芸員になるまでの経歴や現在の研究分野を選択した経緯、学芸員の仕事内容などの説明から講義が始まりました。それぞれの専門分野の研究に関するお話とともに、今後の探究活動への心構えなどをお話ししていただきました。各講座の講義概要と、生徒のレポートの一部を紹介します。

講座1 地域史『地域を知ること』

講師 学芸員（主任） 戸田恭司 先生

現在博物館で実施している企画展「釧路の神社を巡って」を題材として、釧路の街並みや建造物・記念碑などの写真を通して、釧路の変遷について話が進みました。まちを知る手だてを学び、自分の知らなかった「釧路の姿」に触れることができた貴重な時間でした。



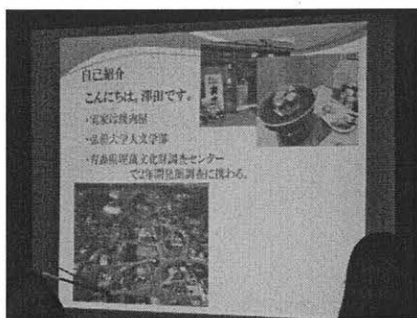
生徒のレポートより

- ・昔の釧路の姿や釧路が栄えた理由、新釧路川ができた理由など、自分が知らなかった釧路の歴史について知ることができた。
- ・自分の知っている釧路と、昔の様子が全く違っていたので驚いた。昔の釧路の写真を見ることができて貴重な時間だった。
- ・調査の際に「必要とするより多くの情報を集める」「独りよがりな判断をしていないか検証する」「地域に役立っているか」の3点に留意すると教えていただいた。

講座2 考古『土の中に眠る人の歴史』

～考古学ってなんだろう？～

講師 学芸員（主査） 澤田恭平 先生



「大昔の人が生きてきた痕跡から何を読み取り、どのように未来へと伝えていくか」について、ご自身のお仕事の様子を交えて講義していただきました。また、平成11年度まで本校で活動していた「考古学部」が発掘に関わった土器や活動の資料を紹介があり、授業終了後に土器を手にした生徒が「想像していたより重い」と感想を述べていました。

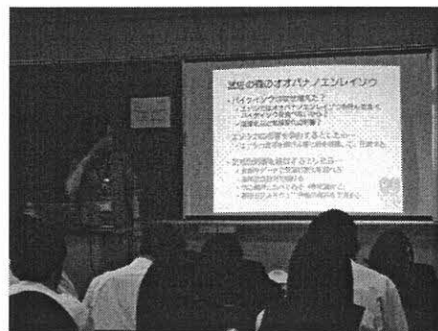
生徒のレポートより

- ・考古学では、想像力と発想力が大切である。土器はそれ自体に言葉や文字はないが、模様が似ている土器が遠く離れた土地で見つかり、地域同士で交流があったかななどを考察することができる。
- ・澤田先生の「仲間を大事に、あまり深く考えすぎず好きなことを楽しむ」という言葉が心に残った。

講座3 植物『釧路の自然について、野外調査と
博物館資料からわかること』

講師 学芸員（学芸専門員） 加藤ゆき恵 先生

自然環境や野生生物について調査する方法について、先生の研究分野の「湿原の植生」に関しての調査や「武佐の森」の植物に関する調査などの例を挙げて説明していただきました。また、釧路市立博物館の学芸員になるまでの経緯や現在のお仕事についてのお話を、生徒は熱心に聞いていました。



生徒のレポートより

- ・東日本大震災の津波で損傷した標本のクリーニングを行った時、標本の大切さを感じたというお話が印象に残った。
- ・博物館の学芸員に必要なことは「調べ方を知ってること」（例えば、図鑑の正しい使い方や調べ方、選び方ができること）や、博物館職員・専門家・愛好家など様々な人とのネットワークがあることだと学んだ。

講座4 『生き物に携わる仕事
～自然史学芸員の選択肢』

講師 学芸員（主査） 貞國利夫 先生



貞國先生が現在の仕事の就きかけや、博物館で学芸員の方が日常どのような仕事に携わっているか、博物館の標本の収蔵庫の紹介、実際の「鳥の剥製」を示しながら、剥製の製作過程などを説明していただきました。生き物に関する仕事に就きたいと考えている生徒には参考になるお話でした。

生徒のレポートより

- ・自然史学芸員の仕事は、標本管理・製作や、湿原の生物の調査・研究をしている。調査で生物に負担をかける分、成果を還元することを考えながら

貞國先生は研究をしている。

- ・普段何気なく博物館で見ている生物の剥製の裏側には、学芸員さんの努力が隠されているのだと知った。時間をかけて展示を作り、地域の人の「知りたい」に応えてくださっていることに、とても感謝したい。

【出前授業を受講して、今後の探究活動に生かして行きたいこと】

- ・今後大切な事は、①興味・関心を持ち続ける ②物事を様々な角度から見る ③コミュニケーションの取り方を身に付けることだと教えていただいた。これらに注意して学習していきたい。
- ・「探究的な活動」を進めるためには、自分の興味・関心のあるもの、好きなものを探究して行きたいと考えた。同じテーマで活動する仲間を大切に、協力し合いながら様々な視点を持ち、意見を言うことが大切。どんなことが結論に結びつくかは、未知数であるため、日常生活でも関心や疑問を持つ習慣をつけて、知識を身に付けておきたい。
- ・仮説をしっかりと立て、自分の考えを持ってから、調査していこうと思った。長い時間をかけて深く掘り下げていくイメージで、物事について探究していきたいと思った。日常の生活の中で、不思議だと思うことや興味を持てるものを探していく習慣を付けたい。

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

文理探究科通信

No.2

令和6年7月23日発行

発行 文理探究科推進委員会

7月11日（木）に2年生「KQⅡ」でアカデミックインターンシップを実施しました。生徒は、探究テーマによって北海道教育大学釧路校、釧路公立大学、釧路工業高等専門学校（以下、釧路工大）の3校に分かれて訪問しました。各校での学習内容と生徒の感想を紹介します。

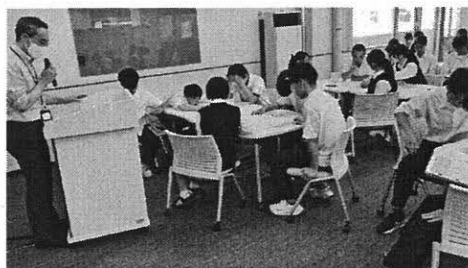
【 北海道教育大学釧路校 】参加生徒76名

午前は大学概要の説明と「探究とは」の講義を受講し、学内見学・図書館見学では、探究テーマに関する書籍探しについて学びました。午後は「探究計画相談」として9つの班に分かれ探究計画を発表し、担当の先生から今後の探究活動の進め方について指導していただき、最後に「今後の探究活動に向けたメッセージ」の講義を受講しました。



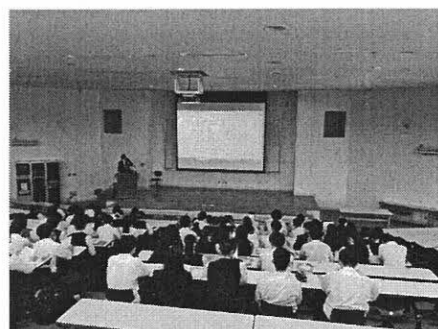
「生徒の感想」

- ・探究のテーマには、それぞれ向き合い方や捉え方に違いがあり、それぞれに適切なアプローチ方法があるということが分かった。また、普段学習している教科の役割も向き合い方と捉え方を用いることで整理することができ、探究テーマとの繋がりを発見できると分かった。大学の先生と話すことで、新しい考え方も学ぶ事ができた。
- ・探究活動の途中でうまくいかなかったときは、「質問・疑問マトリクス」を活用して、自分たちの疑問を明確にして進めていこうと思った。
- ・アンケートについて多くの事を教えていただいた。対象を限定し、答えを導きやすくする。また、使用する言葉や質問も注意深く考える必要がある。使う言葉の定義や、何を答えれば良いのの分かりにくい質問は作ってはいけないなど、自分達が本当に調べたい答えを導き出せるようにしたい。



【 釧路公立大学 】参加生徒74名

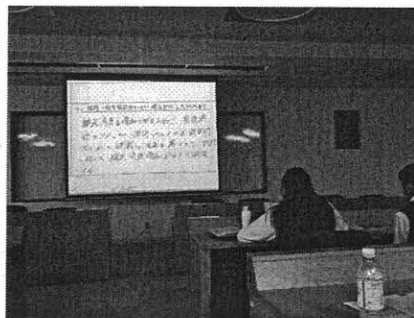
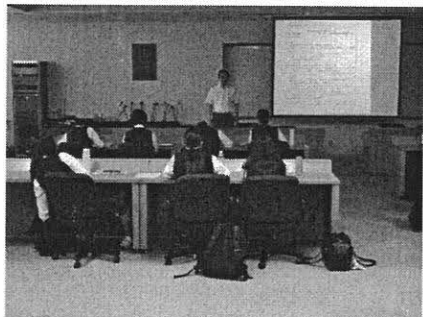
午前は大学案内と「学生時代に学び、探究すること」の講義を受講し、「探究課題と計画に関する相談」で5つの班に分かれ、探究計画を発表し課題の立て方などを学びました。午後は探究計画の修正を行い、改訂版探究計画を作成する作業をして、最後に学習の成果を各グループの代表が発表しました。



「生徒の感想」

- ・下調べが重要であること。調べたことは説明できなければならないこと。テーマと仮説にズレがあってはならないこと、インターネットだけでなく本を読むことなどを、学ぶ事ができた。
- ・「探究とはワクワクドキドキするもの」、指導してくださった先生が1番大切にしてほしいと話されていた。また、アンケートを用いた調査法について指導していただいた。

- ・今回のアカデミックインターンシップで「動機」や「目的」が単一的なものになっていないか見直し、探究テーマと同時期の国際比較や社会問題との視点も取り入れた方がよいということ。探究テーマが大きすぎたり歴史のifは控えるようにする。仮説は、動機と目的との整合性を意識して導くようにすること。通説や「たれば」よりも「自分たちはどう思うか」や新設も組み込むこと。ワクワクするような探究テーマにすることなどを、教えていただいた。



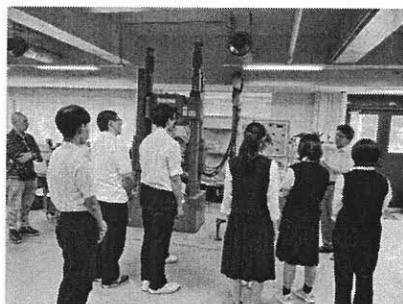
【 釧路工業高等専門学校 】 参加生徒48名

午前に授業・実験や施設内の見学、フィンランドから留学生との交流を行いました。施設見学では普段目にする機会のない様々な機器を見せていただき触れる機会を持つことができました。午後は10研究室を訪問し、担当の先生から探究活動を進めるための留意事項の指導を受け、地域の課題について学生の皆さんとディスカッションし、最後に感想・気づき報告会で各グループの代表が学習の成果を発表しました。



「生徒の感想」

- ・留学生との交流で、フィンランドの医療サービスの充実や子どものための病院の診療体制などを聞くことができた。私達の探究テーマは、釧路工業高等専門学校とは縁のないテーマだと考えていたが、先生の研究内容をお聞きして、自分たちだけでは気付かなかった別の視点から、もう一度アプローチすることができるのではないかと分かった。今後の探究も一つの視点にとらわれず、多方面から見るのが大切だと知ることができた。
- ・自分たちの考えを可視化するという事は、物事が整理できて簡単なことだけれど大事だと思った。私達は探究ルームで話し合うことが多いため、ホワイトボードを活用して自分たちの考えを可視化して、どの情報が必要なのか取捨選択するようにしたい。
- ・実際に卒研生の方とお話をさせていただき、アイデアの出し方・進め方・まとめ方と速いスピードで一連の流れが進められており、とても参考になった。探究している内容に関する研究資料を提供していただいたので、しっかり活用していきたい。



アカデミックインターンシップの実施に関して、3校の先生・事務担当者の皆様には、事前の打ち合わせの段階から様々なご配慮をいただき、無事に1回目の事業を終了することができました。生徒も多くの事を学ばせていただきました。ありがとうございました。

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

文理探究科通信

No.3

令和6年10月4日発行

発行 文理探究科推進委員会

9月24日（火）に1年生KQIで、「校外巡検」を実施しました。

日時 9月24日（火）13:30～15:00

巡検先 株式会社釧路新聞社・株式会社釧路火力発電所・釧路海上保安部
NHK釧路放送局・釧路地方裁判所・釧路コールマイン株式会社
釧路市水産資料展示室・釧路信用金庫本店 以上8事業所

生徒は3校時終了後希望した巡検先へ移動しました。日頃目にする機会のない施設を見学させて頂き、裁判所では模擬裁判、NHK釧路放送局ではリポーター、カメラマンなどの体験をさせていただきました。

また、事前に提示して頂いた課題などに取り組み、巡検に臨みました。

生徒の学習記録から抜粋して紹介します。

【株式会社釧路新聞社】

- ・新聞製作において、取材をしてその情報を整理して記事に書き、デスクが修正作業をし、校正作業を繰り返してから印刷するプロセスが大切にされていることが、探究のプロセスにも共通していて、段階を踏まえて慎重に物事を進めていくことの重要性を理解した。
- ・新聞記事を書くときは、先入観を持たず正しい情報を書かなければいけないと言われていたが、それは日常生活でも活かせると思った。

【株式会社釧路火力発電所】

- ・今まで火力発電所の事について知らなかったが、今回見学したことで色々なことを学ぶ事ができた。施設見学をすることで普段体験できないことを学べるので、今後も施設見学などを積極的に行いたいと思った。また、自分にできる社会貢献は何かを考え、探していきたい。
- ・自分が働くときに、その仕事や職場が地域に及ぼす影響をしっかりと調べた上で、自分に何ができるのか考え責任を持って働くことが大切だと思った。

【釧路海上保安部】

- ・いろいろな役割の人達のチームワークで成り立つ仕事で、自らの手で誰かを救うわけではなくても、任務が上手くいったときにはやりがいを感じられるとの話を伺い、どんな役割でも1人1人がやりがいを感じられる職業だなと思った。
- ・今何が求められているのかを正しく判断して、それが自分のやりたいことではなかったとしても全力で頑張れる人になろうと思った。



【株式会社釧路新聞社】



【株式会社釧路火力発電所】



【釧路海上保安部】

【NHK釧路放送局】

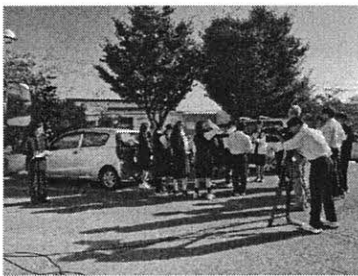
- ・今回の学習を通して「人にわかりやすい言葉で話すこと」「臨機応変に対応すること」の重要性に気付くことができた。
- ・私は放送局に所属しているので、今回学んだこと（何を一番伝えたいかを考え、限られた時間の中でしっかり伝える）を活かして活動していきたい。

【釧路地方裁判所】

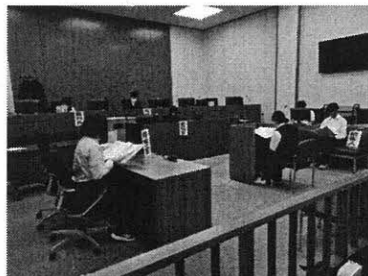
- ・模擬裁判の時、色々な情報を多角的に見て考察することが、難しいことだが大切な事だと思った。日常の出来事に関しても他者の意見を尊重しながら、自分の考えを深めていくことも大切だと思った。
- ・将来裁判官になりたいと思っている。裁判官には広い視野や客観的に物事を見ることが必要な能力が必要と説明していただき、常に周りに気を配りながら思いやりの精神を持って仕事をしていることが分かった。今回の校外巡検を通して、将来の見通しを持つことができた。

【釧路コールマイン株式会社】

- ・「安全第一、生産第二」であり、安全を守ることによって結果的に生産を守ることができるという、自分は運動部に所属しており怪我が多いので、怪我の予防を意識したい。
- ・説明を聞いて、「エネルギー問題について自分たちも考えなければならない」と思ったので「化石燃料」や「再生可能エネルギー」について、多角的な視点を持って考えていきたい。



【NHK釧路放送局】



【釧路地方裁判所】



【釧路コールマイン株式会社】

【釧路市水産資料展示室】

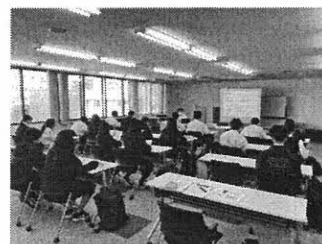
- ・「育てる漁業」についての取り組みや『プライド釧魚』という言葉聞いたことがなかったので興味を覚えた。養殖についての講義で、釧路でも地球温暖化による海水温の上昇や漁場の減少、後継者不足など、課題が顕著に表れていて驚いた。校外巡検で多くの課題を発見することができた。
- ・私の家でも魚食離れは進んでいるが、魚を食べる事で得られる栄養素やメリットを学ぶ事ができた。また釧路の漁業の活性化に関する取り組みを知ることができた。

【釧路信用金庫本店】

- ・担当の方が仕事をする上で大切にしている「ゴールや目標を持つ」「失敗を恐れない」ということを、私も今後意識したいと思った。
- ・「すべてのもの・ことに意味や意義・歴史がある」からそれらを考え、日々探究することが楽しく面白いと教えていただいた。私も身近にある物から小さな探究をしていきたいと思った。
- ・「事業継承」に関する支援や、課題解決支援等の地域への貢献に関して多くのことを学ぶ事ができた。



【釧路市水産資料展示室】



【釧路信用金庫本店】